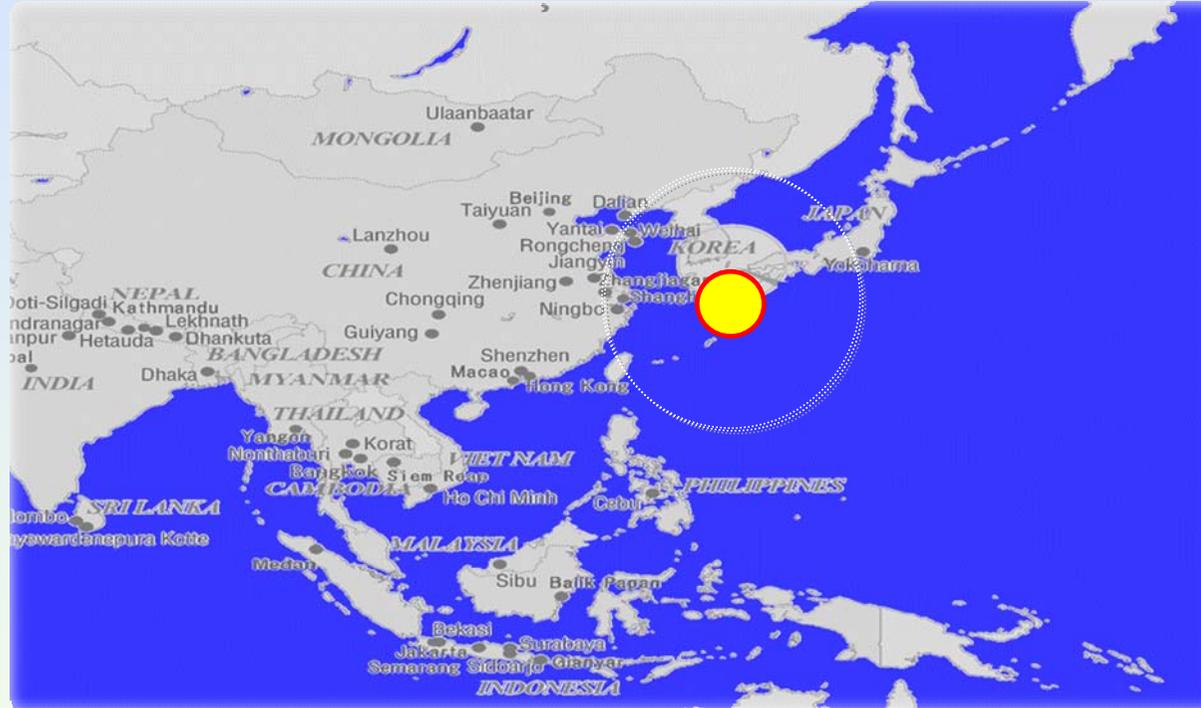


アジアの環境フロンティア都市・北九州市



産業と貿易の街として発展



官営八幡製鉄所
(1901年)

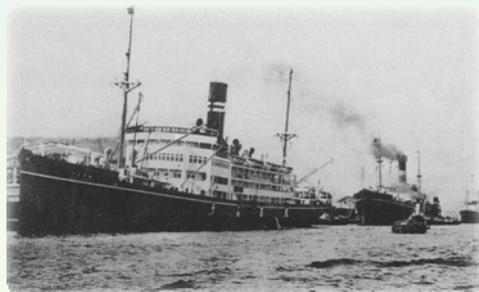


TOTO
(1920年)



安川電機
(1925年)

北九州発祥の産業



門司港 (1935年)



太刀野浦コンテナターミナル



国際貿易

低炭素社会へ

産業・技術、基盤整備、市民参加

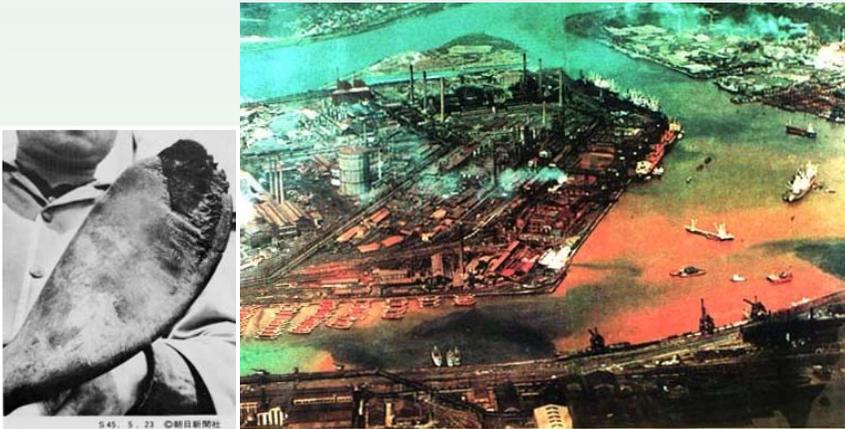
公害の発生と克服



日本最悪の大気汚染、小学校も廃校に



青空を楽しむ市民



「死の海・洞海湾」
スクリュウも溶け、大腸菌も棲めない



洞海湾遠泳

回復した青空と海、環境を楽しむ人々

環境改善の要因

市民



パートナーシップ



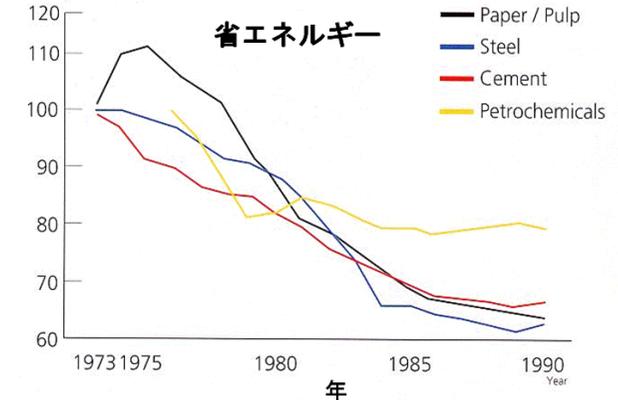
地方自治体



民間企業

生産単位当たりの
エネルギー消費

Index (1973 = 100)



クリーナープロダクションによる生産性の向上

- ・ 地域のイニシアティブやパートナーシップ
- ・ 環境技術 や環境投資
- ・ 環境教育と市民参加
- ・ 環境ガバナンス

国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) 「クリーンな環境のための北九州イニシアティブ」より

蓄積した技術やパートナーシップの新たな展開

環境国際協力

～均衡ある発展に向けたアジアのパートナーシップ～



研修員受入：148国，5,000人

専門家派遣：34国，200人

アジアの環境プロジェクトの促進



北九州エコタウン

～資源循環の促進と環境産業の振興～



実証研究エリア

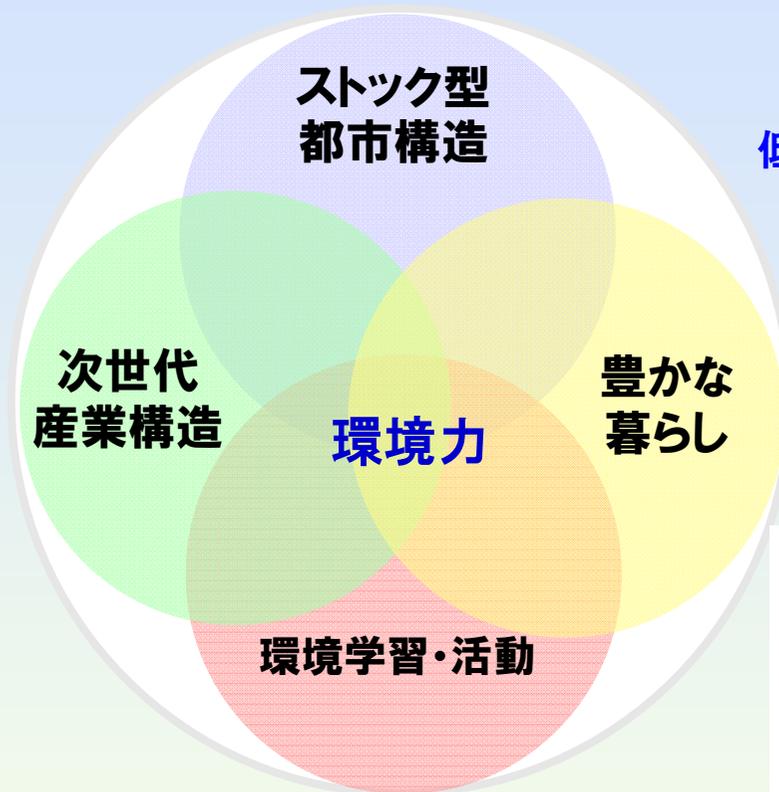
研究施設実数：17



総合環境コンビナート・響リサイクル団地

事業者数：23

環境モデル都市への取組のアプローチ



北九州市



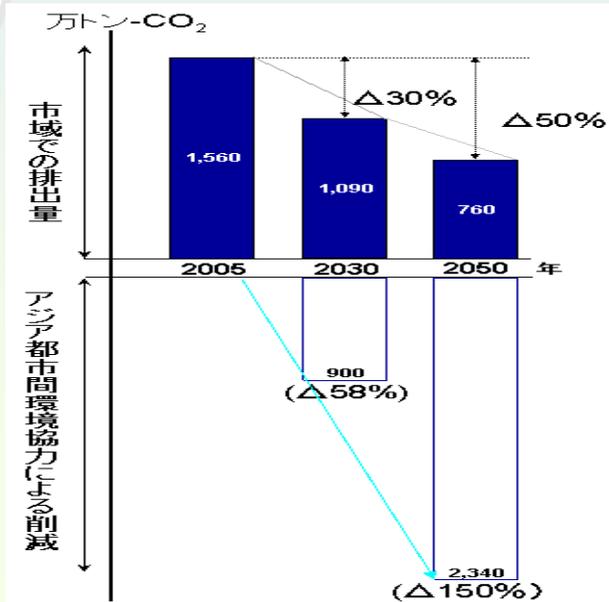
低炭素技術等の移転

アジア
低炭素化
センター

アジアの持続可能な開発



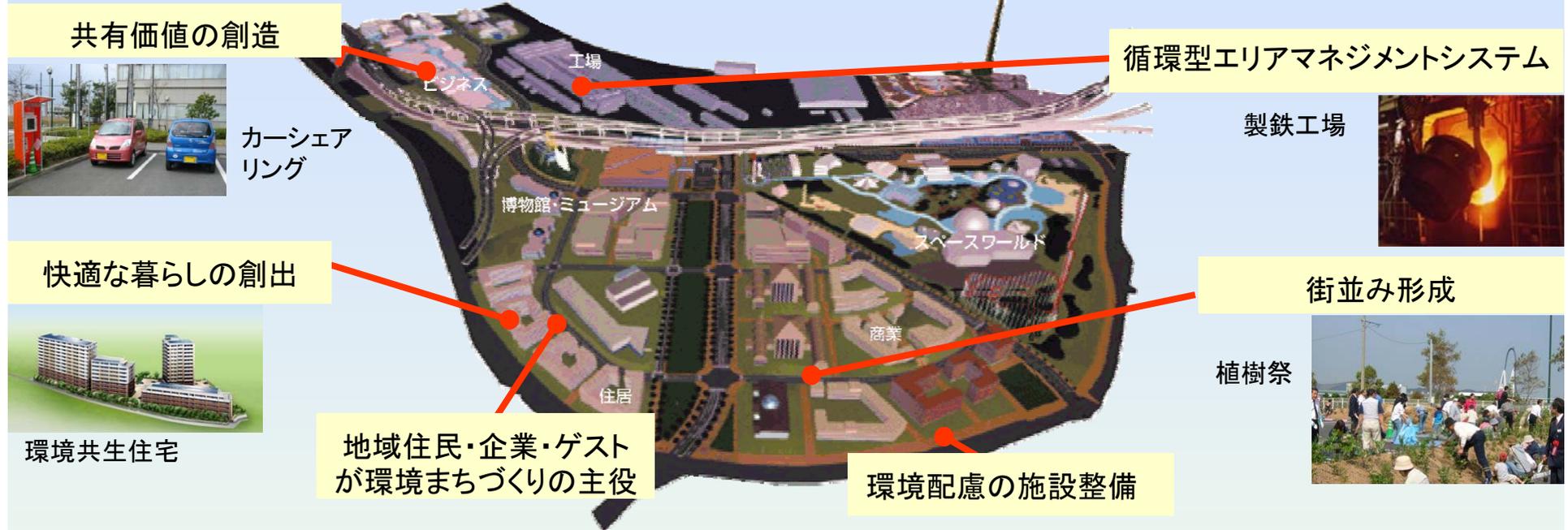
アジア都市



CO₂削減目標

低炭素都市づくり

八幡東田地区グリーンビレッジ ～環境の視点での企業遊休地の再生・まちづくり～

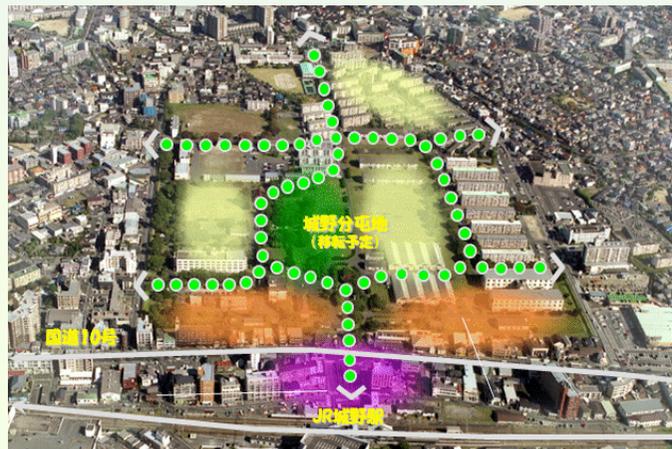


低炭素200年街区の形成～市街地のゼロ・カーボン街区を目指して～

200年輝く
低層住宅ゾーン

緑と眺望を活かした
エコ回廊ゾーン

便利で楽しく利用できる
ターミナルゾーン



低炭素に配慮した
再生住宅ゾーン

次世代技術を集めた
集合住宅ゾーン

エコ生活を支える
生活支援ゾーン

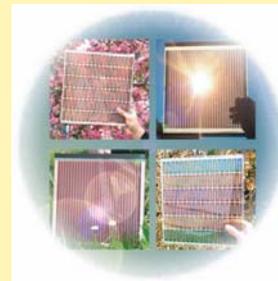
低炭素化に貢献する産業クラスターの構築

次世代型産業・地域エネルギーシステムの構築



技術開発／製品・サービス提供

- ☑ 石炭ガス化燃料電池複合
- ☑ 石炭ガス化ガスからCO₂の分離回収
- ☑ 薄膜太陽電池
- ☑ パワーエレクトロニクス
- ☑ 次世代燃料（DME、バイオエタノール等）



人々の意識と行動

持続可能な開発のための教育 (ESD)

北九州ESD協議会(約50団体)
 市民、企業、大学、行政協働
 北九州市におけるESDの推進
 環境、経済、社会分野の統合



響灘・鳥がさえずる 緑の回廊創生事業



15年間で30万本の植樹
 (平成18年度 1万本の植樹)

北九州エコライフステージ



参加者: 13万人 / 2日間 47万人 / 年

次世代エネルギー・パーク



アジアにおける低炭素社会の実現



● チェラピンスク



エコタウン建設協力（中国）

Solombo
Jayewardenepura Kotte



水道事業



生ごみ堆肥化

